

平成21年度 第3回西区区民会議・議事録

開催日時	平成21年9月2日(水) 14:00~15:00
開催場所	西区役所2階 大会議室
出席者 (敬称略)	委員：出席20名(50音順) 朝日 守、安部 邦昭、荒井 清、有村 小夜子、小野 行俊、神田 稔、 黒岩 清、近藤 勇二、齋藤美智子、鈴木 隆司、関根蔵之助、田村 恭子、 東内 勝美、浪江美知子、馬場 優加、昼間 君子、深谷 隆、茂木 敬子、 矢那瀬春代、吉岡 由和 区 吉野区長、矢部副区長、関根区民生活部長、中澤健康福祉部長 事務局(コミュニティ課) 大久保課長、吉田課長補佐、岡田主事 運営支援(コンサルタント) 山口 宣 上原美子 *エコまちづくりフォーラム(株) 傍聴者 なし
次第	1 開 会 2 議 事 (1) 各部会の活動報告について 西くらしく部会からの報告 (仮称)いきいき交流部会からの報告 広報部会からの報告 (2) 区民会議の部会活動について (3) その他 3 閉 会
配布資料	資料1：第2回西区区民会議・議事録 2：部会別活動経過一覧表 3：第4期西区区民会議部会編成 4：部会の活動テーマについて 5：第4期区民会議の活動計画

1 開 会

- ・8月1日付けの人事異動により大矢前課長が異動となり、後任として大久保前副参事がコミュニティ課長に就いた。
- ・前回の議事録については、特に修正意見等がなかったため、ホームページ及び情報公開コーナーにて公開する。

2 議 事

(1) 各部会の活動報告について

(全体会の役割、部会長の選任等について)

- ・全体会は、各部会からの活動報告により、区民会議全体の活動状況を確認しながら意

見調整などを行う場としたい。

- ・「部会別活動経過一覧表」（資料2）を全体会ごとに配布するので、各部会相互の活動状況についてご確認いただきたい。
- ・部会の名称について、安心安全なまちづくりの部会は「西くらしく部会」とし、区民の交流促進部会は「（仮称）いきいき交流部会」（本日最終決定の予定）となった。
- ・各部会には、部会長等を置くこととし、「西くらしく部会」は安部委員が部会長、鈴木隆司委員が副部会長、「（仮称）いきいき交流部会」は深谷委員が部会長、茂木委員が副部会長、「広報部会」は近藤委員が部会長（副部会長は置かない）が選任された。
- ・部会長の選任に伴い、本日午後1時10分から企画運営委員会が開催され、黒岩会長、吉岡・小野副会長、及び各部会の部会長6名で全体会の議事進行などについて協議した。

（西くらしく部会からの活動報告）

- ・前回の部会では、部会員間で西区についての認識を共有するために、西区の特徴を話し合った。これを踏まえ、部会の目標を「区民が自分の住む土地を知り安全でより住み良くするために行動するまち」を目指すとした。
- ・具体的な活動テーマとしては、「防災」、「西区の風景の選定」、「西区のまちづくり情報アーカイブスを作る」、「観光サイン計画」、「出前区民会議」、「西大宮駅絵タイルベンチの完成」などが挙げられた。また、「まちづくりワークショップ」や「西区のまちづくりフォーラム」の開催など、区民が西区を知るための方法について様々な意見が出た。本日の部会でさらに具体的な内容について詰めていきたい。

（〔仮称〕いきいき交流部会からの活動報告）

- ・部会では取り組みテーマの検討を目的として、西区の現況について各委員の情報や知識などをもとに意見交換を行った。
- ・「西区らしさとは」、「どんな所が西区として売りに出来るか」などについて考えていったらどうかという意見が出された。
- ・具体的には、高齢者が多いという特徴を長所と捉え、何かできないか等の意見が出されたが、意見やテーマが幅広いために、前回の部会では絞り込むところまではいかなかったため、本日の部会でテーマを絞り込んでいきたいと考えている。
- ・部会の名称も、本日正式に決めたいと考えている。

（広報部会からの活動報告）

- ・8月25日に第1回の広報部会を開催し、まず広報のあり方について議論を行った。また、全体会の日程等も考慮に入れ、今後は11月1日発行を目標とし、9月16日に編集会議を開催したうえで、原稿を作成していくこととした。本日の全体会及び部会の内容がメインになると思われる。
- ・具体的な内容については「第4期の委員紹介」や、「第3期の活動報告」などを基本として決めていきたいと考えている。

(2) 区民会議の部会活動について

（検討会議での意見交換について）

- ・区民会議の位置づけに関して、区民会議も第4期を迎え、市長が変わったこともあり、ターニングポイントになるかもしれない。たくさんある「まちづくりの組織」の中で、区民会議が出来ることは何か。新しく第4期から参加された方は、どんなことをするのか、どのように進むのか、全体像がまだよく分からないという意見もあるため、丁

寧に説明を繰り返しながら活動を進めていきたい。

- ・基本的な活動の方向については、西区をいかに良くしたいかを念頭に置き、区の将来像をイメージして1つの大きな視点、細かい視点でよく考えていきたい。全体会における委員全員での意見交換の機会を大切にしたい。また、区政を考える組織としての区民会議であるため、行政の基本的方針である「区政方針」を取り組みのベースとして忘れないようにしながら活動を進めていきたい。
- ・具体的な共通の取り組みテーマについては、「西区らしさとは」を両方の部会で考えながら全体会の中でも意見交換し、西区のキャッチフレーズ「水と緑と花のまちづくり」とリンクさせながら、活動のテーマを考えていきたい。その際、区の一部ではなく、全体を見渡して、全員で意見交換できるテーマ、全員が理解でき取り組んで行ける活動にしていくことが大切である。
- ・イベントでただ忙殺されることのないように、提言や成果を見据えて、両輪でやっていければ良いと考える。

(部会の活動テーマについて)

- ・西くらしく部会では、資料4に掲げているテーマを絞り込んでいるところである。また、絵タイルベンチについては、継続事業として区内の小学生などが作成を進める予定であり、区民会議としては、完成式に携わる形で参加できるのではないかと。出前区民会議は、全体会の中でどのような形で開催していくのかを意見交換しながら具体化したい。西区の風景選定は、募集から選定までの手続きを検討している。
- ・(仮称)いきいき交流部会では、新しい魅力づくりや昔からある自然環境、資源を大切にしながらのふれあいの場づくりなど、地域資源を活用しながら西区の活性化を考えることが大きな方針となっている印象を受けた。また、具体的なテーマとして地域公共交通手段の検討について挙げられている。ふれあい三世代寄席は区民会議が中心となって開催することとし、今後日程等を事務局と調整しながら具体化していく。

(西区に関する情報の共有について)

- ・区民会議の具体的な部会活動を始めるにあたり、各委員に西区を良く知ってもらうため、西区を研究されている委員の情報を共有したいとの提案により、安部委員による「西区を上空から見た映像の上映と確認」及び、近藤委員による「荒川の変遷についての資料説明」が実施された。

(3) その他

(西区ふれあいまつりへの出展について)

- ・新しい期の部会活動が始まったばかりであることから具体的な展示は難しいと考え、西区区民会議のPR、第4期活動テーマの紹介、西区の風景選定に関する展示、区民会議だより第19号の配布等を考えている。部会の検討状況により、後日あらためて事務局案を提案したい。

【意見・質問】

委員：新型インフルエンザがふれあいまつりの頃から流行する恐れがあるが、(区民まつりへの影響や対応について)どう判断するか考える必要があるのではないかと。

区長：インフルエンザ全般に関する対応は市及び区の担当課で進めているが、現時点ではイベントの実施を控えるようにとの指示は出ていない。区民まつりの実施に関しては、今後の状況にあわせて適切に対応していくこととなる。

(今後の会議の予定等について)

- ・ 10月14日に予定している検討会議について、既に7月14日に検討会議を開催していることから、ふれあいまつりの出展内容などについて検討するための合同部会として開催したい。
- ・ ふれあいまつりについては、11月14日が開催日となっており、荒天の場合は15日に順延となる。
- ・ 部会の活動テーマがまだ固まっていないため、10月1日発行予定であった「区民会議だより第19号」を11月1日発行に変更すること、第20号も部会の活動状況により発行時期が前後する可能性があることをご了承いただきたい。紙面の内容については、日程の関係から全体会に諮れないため、広報部会及び企画運営委員会にご一任いただきたい。

(平成22年度の予算要求について)

- ・ 平成22年度の予算について、全体会では各委員からの意見・要望等が無かったため、要望があれば個別に事務局へいただくこととした。

(市国保運営協議会員の推薦について)

- ・ 8月20日に第1回の評議委員会が開かれ、定員26名のうち被保険者代表8名のうちの1人として参加した。委員会では、運営協議会の概要や特定健康検査等についての説明があった。

(タウンミーティングの開催について)

- ・ 清水市長とのタウンミーティングが各区毎に開催されることとなり、西区では各種団体の代表者が集まり10月20日に西区役所で開催される。区民会議からは、黒岩会長が出席する。

6 閉 会

以 上